

タイにおける長期低排出発展戦略への国立環境研究所 AIM チームの貢献 (2)

2022 年 11 月

国立環境研究所 AIM プロジェクトチームは、タイの「長期低排出発展戦略」策定に向けた支援を行ってきましたが、今般、タイ政府が国連気候変動枠組条約に提出した長期戦略の更新版に、AIM プロジェクトチームが現地研究機関とともに開発したモデルによる分析結果が掲載されました。当チームの研究活動がタイ国の脱炭素社会の構築に貢献いたしました。

タイ政府は、パリ協定において締約国に策定・提出が求められている「長期低排出発展戦略」を 2021 年 10 月 30 日に国連気候変動枠組条約事務局へ提出しましたが、今般、タイ政府は削減目標の野心度を高めた「長期低排出発展戦略」の更新版(※1)を 2022 年 11 月 7 日に再提出しました。

国立環境研究所の AIM(※2) プロジェクトチームでは、従前からタイのタマサート大学シリントーン国際工学部とともに、タイ国の温室効果ガス排出削減を評価するモデルを開発してきました。タイ政府内における「長期低排出発展戦略」の検討段階においても、タマサート大学シリントーン国際工学部が行ってきた長期対策の分析について支援をしてきました。そして、その分析結果が昨年提出された戦略に続き、本年に提出された更新版においても採用されました。戦略の本文の中にも、今回適用された AIM モデルに関する説明などが示されています(※3)。

※1 [Thailand's Long-term Low Greenhouse Gas Emission Development Strategy \(Revised version\)](#)

従前の目標 2030 年 20%削減 (条件なし), 25%削減 (条件付き); 2065-2070 年 炭素中立
現在の目標 2030 年 30%削減 (条件なし), 40%削減 (条件付き); 2050 年 炭素中立;
2065 年 GHG 中立 (2030 年の削減率は従前・現在ともに BAU 比)

※2 [アジア太平洋統合評価モデル\(AIM\)](#): 国立環境研究所が京都大学、みずほ R&T らとの共同研究により、アジア太平洋地域諸国の複数の研究機関と協力して開発を行っている気候変動問題に関する統合評価モデル

※3 タイ「長期低排出発展戦略(更新版)」(=※1)における AIM モデルに関する記載

- ・ 本文 12 頁「Methodology」本文 及び Figure3-1

(参考) これまでの AIM プロジェクトのタイ NDC・長期戦略策定に対する明示的な貢献

- ・ タイ 2030 年までの排出量分析: [第3回国別報告書](#) (P60)
- ・ タイ「[長期低排出発展戦略](#)」(2021 年 10 月提出) (P30~33)